

舞鶴市民新聞

鹿原バス停

老朽化した待合所を修理

「みずなぎ学園」園生と職員ら

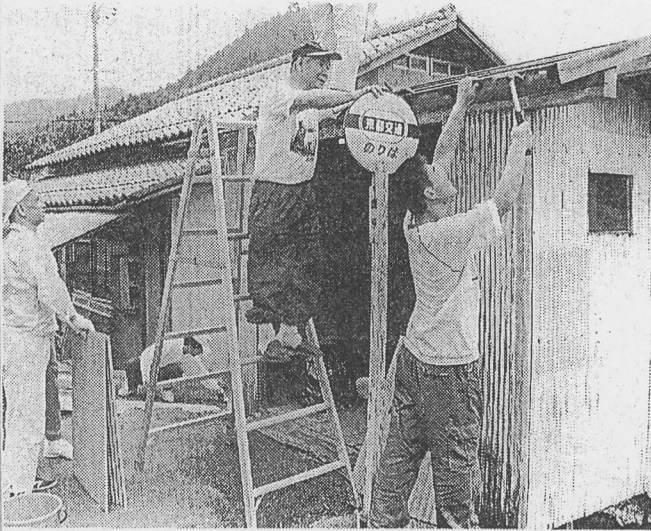
鹿原の精神薄弱者授産施設「みずなぎ学園」(竹之内正美園長)の園生百七人と職員らが四日、京都交通の鹿原バス停の待合所を修理したり、国道周辺のごみ拾いなどのボランティア活動に取り組んだ。

同学園では、日ごろお世話になっている地域へのお礼をしようと、昭和五十五年の創立以来年に

一度、園生全員と職員らで社会奉仕作業を行ってきた。

バスで来る園生らも利用しているバス停の待合所の屋根が、雨漏りするなど傷みがひどいため、今回修理を行った。職員らが屋根に上ってトタンを張り替えたり、園生らが周囲のトタンのさび落としやペンキを塗った。また、金剛院周辺や国道沿いのごみ拾いも一斉に行った。野村寺のみずなぎ高野学園でも、十八日に奉仕作業を実施する予定。

国道周辺のごみ拾いも



トタン張り替えをする園生と職員ら

